

難聴児に関するアンケート調査（職員用調査票）

参考資料 6

●本調査の目的

本調査は、北海道における難聴児への支援体制を検討するに当たり、難聴児支援に携わっている職員の方の意見を把握するため、実施するものです。

●調査対象者

道内において、次の調査対象施設で難聴児支援に携わっている（又は携わったことのある）職員の方

●調査対象施設

児童発達支援センター、児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、聾学校（乳幼児相談室）、保育所、認定こども園、家庭的保育事業所、小規模保育事業所、事業所内保育事業所、認可外保育施設、幼稚園、特別支援学校幼稚部

●回答方法

次のURLのweb回答フォームからお答えください。

<https://www.harpp.lg.jp/vmFcONZX>

webからのご回答が難しい場合は、メール又はFAXにより回答を記入した調査票を送付いただきますようお願いいたします。

【提出先メールアドレス】 [hofuku.kodomokatei@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:hofuku.kodomokatei@pref.hokkaido.lg.jp) 【FAX】 011-232-4240

調査票の様式データは次のURLからダウンロードいただけます。

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/mimi.html>



●回答時間

約10分

●留意事項

2人以上の難聴児の支援に携わったことのある場合は、該当するものを全て回答いただきますようお願いいたします（お子さんごとに回答いただく必要はありません）。

設問は全て任意回答ですので、お答えしづらい設問は未回答で差し支えありません。ただし、その他を選択された場合は、可能な限り、その内容をご回答いただきますようお願いいたします。

※本調査において「難聴児」は、聴覚障害児を含め、聞こえにくいお子さん・聞こえないお子さんを指します。

No	質問内容	選択肢	回答欄
<b>【基本情報】</b>			
1	現在勤務している事業所等が所在する市町村がある振興局管内等を教えてください。  ※回答欄に○を入力してください。	①空知	
		②石狩（札幌市を除く。）	
		③札幌市	
		④後志	
		⑤胆振	
		⑥日高	
		⑦渡島（函館市を除く。）	
		⑧函館市	
		⑨檜山	
		⑩上川（旭川市を除く。）	
		⑪旭川市	
		⑫留萌	
		⑬宗谷	
		⑭オホーツク	
		⑮十勝	
		⑯釧路	
		⑰根室	

No	質問内容	選択肢	回答欄
2	<p>現在勤務している事業所等の種別を教えてください。</p> <p>※回答欄に○を入力してください。</p>	①児童発達支援事業所（児童発達支援センターを含む。）	
		②放課後等デイサービス	
		③聾学校の乳幼児相談室	
		④保育所	
		⑤認定こども園	
		⑥家庭的保育事業所	
		⑦小規模保育事業所	
		⑧事業所内保育事業所	
		⑨認可外保育施設	
		⑩幼稚園	
		⑪特別支援学校幼稚部	
		⑫その他（内容を下欄にご記入ください。）	
		(自由記入)	
3	<p>これまでに勤務したことがある事業所等のうち、難聴児の療育に関する業務を担当した事業所等を全て選択してください。（複数選択可）</p> <p>※回答欄に○を入力してください。</p>	①児童発達支援事業所（児童発達支援センターを含む。）	
		②放課後等デイサービス	
		③聾学校の乳幼児相談室	
		④保育所	
		⑤認定こども園	
		⑥家庭的保育事業所	
		⑦小規模保育事業所	
		⑧事業所内保育事業所	
		⑨認可外保育施設	
		⑩幼稚園	
		⑪特別支援学校幼稚部	
		⑫その他（内容を下欄にご記入ください。）	
		(自由記入)	
4	<p>現在の職種を教えてください。</p> <p>※回答欄に○を入力してください。</p>	①児童発達支援管理責任者	
		②児童指導員	
		③言語聴覚士	
		④聾学校教諭	
		⑤保育士	
		⑥幼稚園教諭	
		⑦特別支援学校教諭（聾学校を除く。）	
		⑧その他（内容を下欄にご記入ください。）	
		(自由記入)	
5	<p>支援に携わっている（携わった）難聴のお子さんで最も小さかった子の年齢を教えてください。（1歳未満の場合は月齢も教えてください。）</p>	( ) 歳 ( ) か月	
6	<p>支援に携わっている（携わった）難聴のお子さんで最も大きかった子の年齢を教えてください。（1歳未満の場合は月齢も教えてください。）</p>	( ) 歳 ( ) か月	

No	質問内容	選択肢	回答欄
7	<p>支援に携わったことのある難聴児の難聴の程度について該当するものを全て選択してください。 (複数選択可)</p> <p>※回答欄に○を入力してください。</p>	①身体障害者手帳2級相当(両耳の聴力レベルがそれぞれ100デシベル以上のもの(両耳全ろう))	
		②身体障害者手帳3級相当(両耳の聴力レベルが90デシベル以上のもの(耳介に接しなければ大声語を理解し得ないもの))	
		③身体障害者手帳4級相当(①両耳の聴力レベルがそれぞれ80デシベル以上のもの(耳介に接しなければ話声語を理解し得ないもの)又は②両耳による普通話声の最良の語音明瞭度が50パーセント以下のもの)	
		④身体障害者手帳6級相当(①両耳の聴力レベルが70デシベル以上のもの(40センチメートル以上の距離で発声された会話を理解し得ないもの)又は②一側耳の聴力レベルが90デシベル以上、他側耳の聴力レベルが50デシベル以上のもの)	
		⑤軽度・中等度難聴(両耳の聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満など身体障害者手帳の交付対象外となるもの)	
		⑥一側性難聴(片耳難聴)	
		⑦今後精密検査等を受ける・不明	
		⑧その他(内容を下欄にご記入ください。)	
		(自由記入)	
8	<p>支援に携わったことのある難聴児の難聴の補聴状況について該当するものを全て選択してください。 (複数選択可)</p> <p>※回答欄に○を入力してください。</p>	①両耳・人工内耳	
		②両耳・補聴器	
		③片耳・人工内耳、片耳・補聴器	
		④片耳・人工内耳	
		⑤片耳・補聴器	
		⑥装用待機中	
		⑦両耳・補装具なし(軽度・中等度)	
		⑧両耳・補装具なし(重度)	
		⑨補聴援助システム(FMやロジャー等)活用	
9	<p>支援に携わったことのある難聴児で難聴以外の障害・疾患があった場合、該当するものについて全て選択してください。 (複数選択可)</p> <p>※回答欄に○を入力してください。</p>	①視覚障害	
		②肢体不自由	
		③内部障害	
		④知的障害	
		⑤発達障害(自閉症スペクトラム等)	
		⑥言語障害	
		⑦重症心身障害	
		⑧先天性サイトメガロウイルス感染症	
		⑨先天性風疹症候群	
		⑩先天梅毒	
		⑪難聴以外の障害は未診断又は把握していない	
		⑫その他(内容を下欄にご記入ください。)	
(自由記入)			

No	質問内容	選択肢	回答欄
<b>【療育関係】</b>			
10	難聴児に係る療育についてどのように学びましたか。（複数選択可） ※回答欄に○を入力してください。	①大学等の専門機関	
		②聾学校教諭による研修会	
		③道立施設の言語聴覚士による研修会	
		④専門書で情報を収集	
		⑤インターネットで情報を収集	
		⑥難聴児関係団体の研修会	
		⑦医療機関等からの指導・助言	
		⑧日々の実践の中で学んだ	
		⑨その他（内容を下欄にご記入ください。）	
		（自由記入）	
11	10のように学ばれたことについて良かった点、不満があった点があれば教えてください。	（自由記入）	
12	難聴児に係る療育について学ぶ際、どのような情報やプログラムが必要又はあると望ましいと考えますか。（複数選択可） ※回答欄に○を入力してください。	①医療機関等の情報	
		②他の療育機関等の情報	
		③市町村の相談先の情報	
		④支援の流れ（治療・療育等）の情報	
		⑤きこえの仕組み等に関する基本的な知識を修得するための研修	
		⑥難聴児等への関わり（保護者対応を含む。）について修得するための研修	
		⑦言語聴覚士による療育方法等の実践的な研修	
		⑧聾学校教諭による療育方法等の実践的な研修	
		⑨医師による療育方法等の実践的な研修	
		⑩他療育機関等との情報共有・意見交換の場の設定	
		⑪療育を行っている施設等での見学・実習	
		⑫難聴体験	
		⑬その他（内容を下欄にご記入ください。）	
		（自由記入）	

No	質問内容	選択肢	回答欄
13	<p>難聴児に係る療育について、どのようなことをしていますか。（複数選択可）</p> <p>※回答欄に○を入力してください。</p>	①聴覚障害についての説明	
		②お子さん自身のきこえについての説明	
		③補聴器についての説明	
		④人工内耳についての説明	
		⑤聴覚活用について日常生活の中で具体的な方法の説明と支援	
		⑥手話についての説明、実際の活用についての支援	
		⑦具体的な育児、発達促進に関する説明や支援	
		⑧お子さんとのコミュニケーションの取り方の具体的な方法の説明や支援	
		⑨言語発達支援について具体的な方法の説明や支援	
		⑩おもちゃ、絵、絵本などいろいろな教材の扱い方についての説明や支援	
		⑪福祉制度、利用方法などについての情報の提供と説明	
		⑫お子さんのこと、家族のことなど個別の悩み、困り感の相談への対応	
		⑬障害を受け止めることについての悩み、相談への助言や支援	
		⑭保護者同士の交流や話し合いの場の設定	
		⑮3歳児からの進路についての様々な情報の提供	
		⑯小学校以上の教育や将来についての情報の提供	
		⑰講演会や学習会の機会の提供	
		⑱保育所や幼稚園に関する相談への対応	
		⑲相談機関（窓口）についての情報の提供	
		⑳療育機関等についての情報の提供	
		㉑医療機関等についての情報の提供	
		㉒その他（内容を下欄にご記入ください。）	
	（自由記入）		
14	<p>13の実践について、やって良かったものや不十分だったと思うものがあれば教えてください。</p>	（自由記入）	
15	<p>難聴児に係る療育についてご自身の相談先を教えてください。（複数選択可）</p> <p>※回答欄に○を入力してください。</p>	①医師	
		②看護師	
		③医療ソーシャルワーカー（メディカルソーシャルワーカー）	
		④言語聴覚士	
		⑤保健師	
		⑥児童発達支援事業所（児童発達支援センターを含む。）や放課後等デイサービスの職員	
		⑦聾学校（乳幼児相談室を含む。）の教職員	
		⑧行政機関の職員	
		⑨学校・保育所等の教職員	
		⑩難聴児関連団体	
		⑪難聴児の保護者	
		⑫SNS	
		⑬その他（内容を下欄にご記入ください。）	
			（自由記入）

No	質問内容	選択肢	回答欄
16	これまで難聴児の療育に関する必要な相談はできていますか。	①必要な相談ができています	
		②必要な相談ができていない	
		③どちらともいえない	
		④その他（内容を下欄にご記入ください。）	
		（自由記入）	
17	難聴児の療育に関する相談をするに当たり、どのような点を重視しますか。 ※最も重視するもの、2番目に重視するもの、3番目に重視するものをそれぞれ番号を入力してください。 （例）最も重視するもの：該当する選択肢の回答欄に1を入力	①事業所に訪問してもらって相談することができる	
		②事業所から通える距離で相談することができる	
		③事業所からオンラインで相談することができる	
		④事業所から遠方にあるが、専門的な知見を有する人に対面又はオンラインで相談することができる	
		⑤その他（内容を下欄にご記入ください。）	
（自由記入）			
18	難聴児の療育に関する相談について、どのような人が相談対応してくれるかといふと考えますか。 （複数選択可）  ※回答欄に○を入力してください。	①医師	
		②看護師	
		③医療ソーシャルワーカー（メディカルソーシャルワーカー）	
		④言語聴覚士	
		⑤保健師	
		⑥児童発達支援事業所（児童発達支援センターを含む。）や放課後等デイサービスの職員	
		⑦聾学校（乳幼児相談室を含む。）の教職員	
		⑧行政機関の職員	
		⑨学校・保育所等の教職員	
		⑩難聴児関連団体	
		⑪難聴児の保護者	
		⑫その他（内容を下欄にご記入ください。）	
		（自由記入）	
19	難聴児に係る療育についてその他ご意見や現在困っていること等があれば教えてください。	（自由記入）	